

市内5社の取組事例集

かどま 女性活躍の職場づくり

かどま 女性活躍の職場づくり

～市内5社の取組事例集～

CONTENTS

はじめに 2

門真市の現状 3

取組事例

1. ヨーホー電子株式会社
女性の管理職登用推進で組織を活性化 4
2. 株式会社大京精研
同社女性従業員のきめ細かさを武器に品質向上..... 6
3. オーエム工業株式会社
ものづくりのまち門真で「塗装女子」活躍中！！ 8
4. 株式会社中村工務店
思い切った「間接部門」の廃止を試行
～多角化経営・CSR推進に女性の力を活用～ 10
5. 株式会社門真キャップシール
現役「子育て中」の社長が進める
「女性が働き続けることができる仕組みづくり」 12

(順不同・敬称略)

本冊子は「門真市女性雇用環境整備事業補助金」を活用した企業の取組を掲載しています。内容は令和元年度に実施した取材日時点のものです。



門真市

門真市の女性雇用の現状

我が国では急速な人口減少局面を迎え、将来の労働力不足等が懸念される中、企業における人材のダイバーシティ（多様性）確保が不可欠であり、女性の活躍の推進が重要となってきました。

一方、地元雇用の促進は、通勤時間の短縮といったワークライフバランスの実現に資するなどの利点があり、本市は、平坦で交通の便が良い、住む場所と働く場所が近くにある「職住近接」のポテンシャルがあります。

しかし、統計をみると、本市に居住している女性の就業者数は2万589人、就業率は56.5%で、大阪府平均の就業率より高い一方、本市に居住している女性で、市内事業所に勤める女性就業者は1万932人であり、約半数の方が、市外で就業している実態が見て取れます。つまり、女性にとって働く場所が近くにありながら、地元での雇用に結びついていない可能性があります。

今後さらに「職住近接」を活かして、若者から高齢者、子育て中の女性などさまざまな人材が活躍できる環境づくりが必要です。

・門真市民の女性就業率

※平成27年度国勢調査より

項目	門真市	大阪府（比較）
総人口	123,576人	8,839,469人
生産年齢人口（15～64歳）	74,181人	5,341,654人
うち女性	36,443人	2,705,841人
うち就業数	20,589人	1,487,844人
女性就業率	約56.5%	約55.0%

・門真市内で住みかつ門真市内で働いている人数

項目	人数
門真市内で住みかつ働いている人数	21,288人
うち男性	10,356人
うち女性	10,932人

約半数が市外で働いている！

・門真市内の事業所における従業員状況

項目	門真市	大阪府（比較）
門真市内の事業所で従業員している者の数	69,192人	4,146,755人
うち女性従業員数	25,155人	1,785,503人
当地事業所の女性従業員比率	36.4%	43.1%

はじめに

門真市は、2020年6月現在の人口が12万1,110人、10年前の2009年の13万1,664人と比べ1万5,544人減少しています。また、15～64歳の生産年齢人口は7万3,069人、同じく10年前に比べ1万2,149人も減少しています。この傾向は今後も進展していく見通しであり、労働力不足の問題はますます深刻になるものと予測されています。

こうした中、国においては、持続可能な社会を構築するため、女性活躍推進をはじめ、働き方改革、高齢者の働き方の見直し、外国人材受け入れなどの対応や検討がなされています。

一方、本市は坂が少なく平坦で自転車などで通勤しやすく、さらに身近に働く場所があるため、子育て世代にとっても非常に有利な環境であると言えます。また国の調査では、働きたいと思う女性の数は着実に増加しており、本市が持つ特長を踏まえると、市内企業における人材確保や定着促進のためには、まず事業所において女性が働きやすく、活躍できる環境の整備が必要であると考えています。

例えば、女性専用トイレや更衣室などが整備され、また柔軟な休暇取得や勤務形態など女性が働きやすい就業制度などが導入されていけば、採用で自社を選んでもらえる好材料になり、また従業員の定着も図ることができそうです。

そこで、本市では令和元年度より「門真市女性雇用環境整備補助事業」をスタートし、企業における女性が働きやすい環境整備に対する支援を行っています。

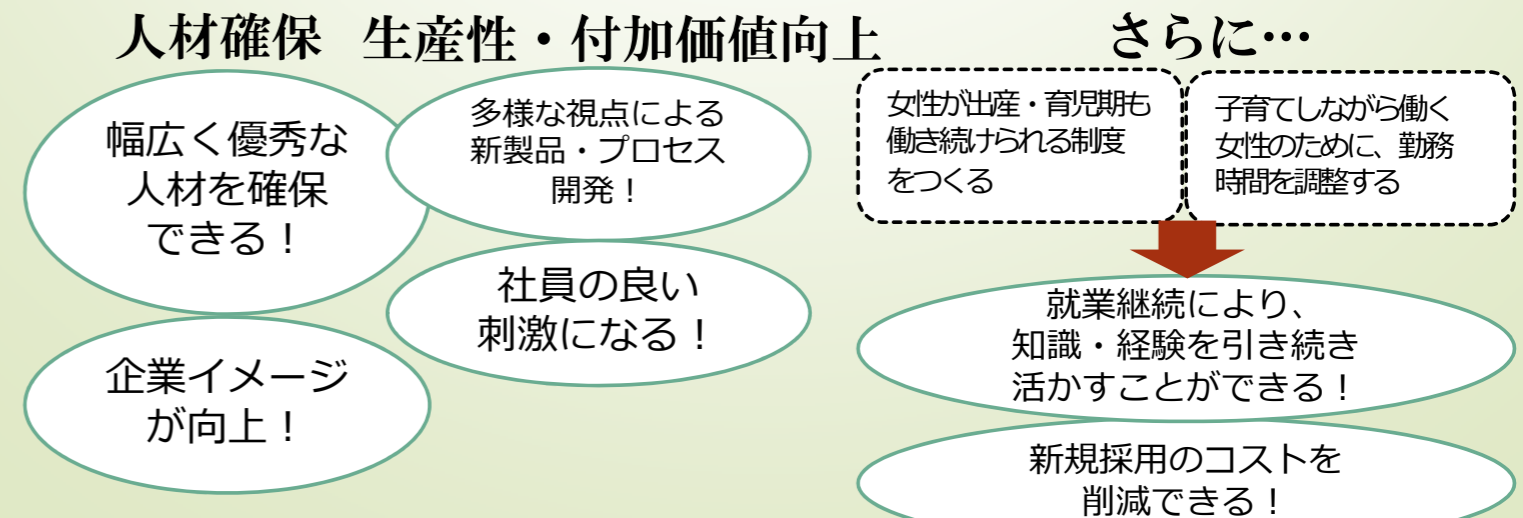
この事例集は、当事業の一環として作成し、女性が働きやすく、活躍できる職場環境の整備を推進する市内企業の取組をまとめています。皆様の職場で、女性が活躍するために取組んでいたヒントがあると思いますので、参考としてご活用いただければ幸いです。



令和元年12月開催 門真市主催「女性活躍推進セミナー」

これからの企業成長のため、女性が活躍できる環境整備を！

～女性雇用・活躍推進は経営にプラス効果～



2012年 日本政策金融公庫総合研究所研究員 松井雅史
「女性従業員の活躍を推進する中小企業の特徴－女性の活躍を促すための取組のあり方－」より作成



短納期・高品質の力ギは“手作業・目視” 多くの女性従業員が要を担う

自社製品で急成長

電子基板の実装とその後の組立てを事業の柱とするヨ一ホ一電子株式会社（門真市四宮6丁目）は、自社製品の「輝烈（きてれつ）」を始めとする面発光LED製品等の好調な受注により、ここ数年業績を急速に拡大している。これにもない従業員数は大幅に増加、現在門真市内に5箇所の生産拠点を有する。

同社の従業員は128名。電子基板の製造はマシン導入が進んでも、「手作業・目視」が短納期・精度確保の力ギ。本社工場の組立ラインには多くの従業員が整然と並んで作業を行っている姿が目を見く。

高い女性比率を維持

うち女性従業員は98名。創業時から高い女性比率を維持している。数名の事務員を除きほとんどが現場の組立・検品作業に従事する。



辻吉典社長

「当社の女性従業員は『流れ作業』にも根気よく取り組むことができ、何時間もの間、集中して作業に取り組むことに長けていると思います。この点について、当社の男性はなかなか、かなわないと思います。」と辻吉典社長は話す。

女性従業員の平均年齢は32〜33歳、子育て真っ最中のママも大勢おり、工場前の駐輪場には“ママチャリ”がズラリと並ぶ。

育児休暇はここ1年で3名の利用実績があり、復帰率も高い。また保育園等の入所についても、会長や社長の人脈を活かし、近隣施設等の情報を収集し従業員に提供するなどの配慮を欠かさない。

女性管理職を積極登用

同社は2年ほど前から、8名の女性従業員を主任・リーダー（生産ライン）として管理職に登用している。一部には人材不足で男性のみではカバーできなくなった事情もあるが、女性が多く働く職場の中で、意見や



女性管理職拡大で組織を活性化

課題等が出た際、まずは女性同士のチームでディスカッションした方がスムーズに解決に向かうのではという狙いもあった。はじめは「私だけ目立って…」というような消極的な雰囲気が見られたが、今は狙い通り仕事に対する自発的・前向きな姿勢が定着してきているとのこと。一部の女性主任は営業の折衝等、同社の最前線で活躍している。

主任の上下小牧亜紀さんは、業績が拡大する同社において、請求書発行や支払いなどの増大する管理事務をこなす傍ら、3人の女性後輩社員を指導する。

「やりがいは、何といっても繁忙期のメドがついたときの達成感ですね。この会社について長いですが、会社の拡大とともに業務量は増えています。会社の成長と、自身のキャリア、そしてチームの成長が重なり、とても満足感があります。今は後輩を指導する立場にもなり、悩むときもありませんが、わかりやすい、伝わりやすい表現を使うよう努めています。」と意気込みを語る。

雇用環境については「全体的に有給は取りやすい雰囲気ですね。実際に取得率は高いですよ。」（上下小牧さん）

女性専用トイレの拡充で“順番待ち”も解消

同社には、本社工場（大半の従業員が働く）の女性トイレが1カ所しかなく、従業員の増加により、休憩時間ごとに順番待ちの列ができるため、生産性の低下を招くことが大きな悩みであった。また、将来予定しているさらなる人員増に対応するためにも女性トイレの追加設置は喫緊の課題となっていた。

そんな時、辻社長は門真市中小企業サポートセンターのメールマガジンで「門真市女性雇用環境整備補助金」を知り、すぐに、1階の資材置き場であったスペースに、新たな女性専用トイレを設置することを決めた。個室は3箇所、すべて洋式。「新しいトイレができ、行列もなくなつて女性従業員は喜んでいました。また洋式で、きれいで明るく、工場のトイレじゃないみたいですね。」（上下小牧さん）



女性の雇用拡大にもない、女性専用トイレを拡充 休憩時間の順番待ちも解消

「従業員に対し、会社としてまず優先して配慮すべきことは、家庭と仕事の両立、休暇への配慮だと思います。将来的には企業内保育も検討したいと思います。」と辻社長は語気を強める。

Company Data

電子機器プリント基板

LED照明基板の設計・実装組み立て

ヨ一ホ一電子株式会社

門真市四宮6-6-46 TEL: 072-881-6355





プログラム・検査・溶接・事務まで幅広い職種で女性が活躍

ものづくりの“要所”で
女性が活躍

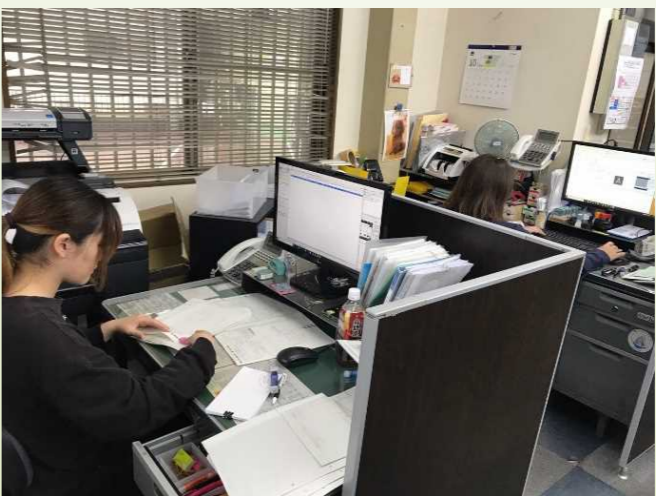
板金部品の製造及び販売で高い評価を得る株式会社大京精研（門真市桑才新町）は、女性従業員のきめ細かさを積極的に品質向上に活用している。

同社は、全従業員25名中女性が5名（うち現役ママが2名）と女性比率は高い方ではないが、プログラム・検査・溶接等の加工に3名、事務に2名と一線で活躍している。

「検査や出荷業務は特に女性は丁寧にやってくれるので、信頼を置いています。梱包なんかは見えないところまで、ビシッと決めてくれます。」と佐別當部長。

また、勤続20年の女性事務員は、すでにCAD操作が自由自在。指示書作成も一手に引受けるが、男性が気づかないところまで配慮が行き届くという。

さらに「5S活動も率先して現場を引っ張ってくれますね。これも当社の品質を支えています。」と続ける。



細やかな指示書作成で品質・生産性をアップ

まずは
職場の雰囲気づくりから

同社が女性を積極的に採用するようになったのは約8年前。並行して女性が働きやすい職場環境を整備してきた。

現在のところフレックス制度はないが、特に子育て中の社員のために

30分単位での部分休取得も可能とし、子どもの体調不良などの際の休暇取得を容易にしている。また子どもの学校行事予定での休暇は、気軽に申し出られる雰囲気をつくり、柔軟に対応している。その結果、ほとんどが年間の有給取得が範囲内におさまっているという。

面接で女性雇用環境整備
の必要性を痛感

女性専用の更衣室は早くから設置していたものの、男性多数という職場でもあり、トイレは長らく共用のままであった。しかし女性求職者との面接の際「トイレは共用ですか？」と聞かれることも少なくなく、採用での不利も痛感していた。「門真市中小企業サポートセンターのメールマガジン」で補助金の募集を知り、女性専用トイレの設置に踏み切った。



デッドスペースを上手く活用し、明るい女性専用トイレを整備

「近くにお住まいのお母さんにはぜひ来てほしいですね。職場が家から近ければ子育ても安心してできます。」と意気込む。



“溶接女子”も奮闘中

事務所棟2階の階段突き当り、通勤用のヘルメット・雨合羽などを置く場所を整理し、設置スペースを確保。ウォシュレット付の洋式トイレを新たに設置した。「これで本当に女性に安心して働いてもらうことができます。」と部長は胸を張る。

そのほか、夏季には会社でペットボトルの水をまとめ買いし、全社員がいつでも冷たい水を飲めるようにするなど、従業員の健康管理にも配慮を怠らない。今回の環境整備を皮切りに、今後はパートタイムを中心に女性を積極的に採用していく計画。特に検査業務において女性を増やし、品質向上に万全を期す予定。

Company Data

多品種・小ロット品が得意な板金加工屋です！
ファイバー溶接機も稼働中！

株式会社大京精研

門真市桑才新町21-5 TEL:06-6916-2177





検査作業 少しの不良も見逃さない

“塗装女子”が活躍

オーエム工業株式会社（門真市四宮3丁目）は、平成元年に現在地にて創業以来、産業機械筐体や店舗装飾品などの焼き付け塗装、常乾塗装を行っている。

同社の従業員は12名。塗装業は“男性職場”のイメージがいまだに根強いが、同社で一人の「塗装女子」が奮闘中だ。

2018年の6月に同社にフルタイムの正社員として入社。現場での塗装はもちろん、フォークリフトの運転もこなす。

「塗装の仕事は奥が深く難しいです。ベテランの方と私では塗り方ひとつをとっても全く違います。」
 これまでローラーを使った塗装の経験はあったが吹付けは未経験。
 「ですが、その分やりがいもあり、これからも経験を積んで技術を磨いていきたいです。」と作業中の眼差しは常に真剣だ。

深刻な人手不足と女性雇用拡大

奥山社長自ら“3K”と呼ばれる塗装業にあつて、人手不足は特に深刻な課題。同社では、各自が責任をもってやり遂げるにより仕事へのモチベーションを高めるよう「若手にも重要な仕事をまかせ、従業員への定着は比較的良好。結果、従業員構成も各年代でバランスがとれており技能継承の点でも大きな強みを発揮している。」



しかし、求人応募数が少ない中、増大する受注に対しすぐに人員を増やせないことが大きな悩みであった。その解決策としてまず試みたのが外国人材の活用。そして女性の雇用拡大だ。近年の製造業への女性活躍の流れの中で、同社でも女性の応募も若干ではあるが増えてきている傾向にあるという。同社ではこの好機に社内設備を見直し、女性が安心して働き続けることができる環境の整備を進めることにした。

「長屋工場」でも清潔で明るいトイレを実現

同社はいわゆる「長屋タイプ」の工場。一階に作業場、二階が倉庫・事務所となっている典型的な“町工場”。現在、通路を挟んで4区画を使用している。まず実施したのが女性専用更衣室の設置。作業での汚れが激しい塗装業では出勤時の着替えは必須。工場の1区画の2階部分の一部を女性専用の更衣室兼休憩スペースとした。

そして大きな課題はトイレ。1階にトイレが合計3箇所あるが、全て非水洗の汲み取り式で男女共用。採用面接の際は、必ずトイレの状況をあらかじめ見てもらっていたという。「それで辞退された女性もいたのではないかと思えます。男女関係なく若い方は汲み取り式のトイレ見たこともない人もいて、びつくりされますよ。」と取締役は振り返る。

令和元年夏、一気に3箇所のトイレの水洗化・洋式化を実施、うち1箇所は市の補助金を活用し、女性専用トイレとした。床と壁も明るいものに張り替えた。

「まず一番気になっていた部分が何とかなりました。女性社員もすごく喜んでいきます。早く2人目の女性を採用したいですね。事務でも現場でも、弊社が少しでも多くの女性からの選択肢に入れてもらえれば、それだけ採用の幅も広がります。実はすぐ近くに保育園が2箇所あり、送り迎えをしているお母さんたちを多く目にします。」

弊社の仕事はパート等でも柔軟に対応できますので、近くにお住まいのお母さんに来て頂ければ、保育園からも近くてベストですね。また外国人も和式トイレ使用の習慣がない方もいるので、その点でも洋式化は効果的だったと思えます。」
 （取締役）



リニューアル！



工場内のトイレをすべて水洗化、女性専用トイレも新設

Company Data

設備、手法の工夫を凝らして
 塗装の効率、品質を高める

オーエム工業株式会社

門真市四宮3-9-28 TEL : 072-883-6862





「体験型エコビル」として屋上緑化された本社

「ハッピー・ビーンズプロジェクト」
「幸せの種まき計画」

塗装業からスタートした株式会社中村工務店（門真市常盤町）は、創業から50余年、住宅設計・施工・リフォーム等の建設業、不動産業を中心に順調に業容を拡大、門真市を中心とした京阪沿線地域に根差した工務店として存在感を高めている。近年ではホテル・民泊・シェアハウスや飲食店の運営、コンサルティング業に至るまで幅広い業種への進出を図るなど、経営安定のため「多角化」を積極的に推進している。さらに社会貢献事業にも意欲的に取り組み、2005年からCSR活動を本格的に始動。「ハッピー・ビーンズプロジェクト」や「幸せの種まき計画」と銘打ち、国内農業や水産業の持続化・後継者支援、廃材利用事業等を行う。

また代表取締役の中村光伸さんは、門真生まれ門真育ち門真在住の生粋の「門真っ子」。地元門真への愛着は人一倍である。自社直営のカフェ（自社ビル1階「ハッピービーンズカフェ」）を活用した「餅つき大会」や「映画上映会」等、地域住民が参加できるイベントの開催、小学生の居場所づくりのため市が推進



門真生まれ門真育ち門真在住の「門真っ子」中村社長

「間接部門」の廃止を試行

一般的に「間接部門」は「お金を生んでいない」「業績悪化時にリスクリスク対象になる」といったイメージが少なからずある中、それが社員のモチベーション低下に繋がることを懸念し、同社では男女や職種に関係



自社の事務所にも女性専用トイレを整備 女性社員の声を取り入れ設計

社内の雰囲気向上効果も “子連れ出勤”

同社はまた、いわゆる“子連れ出勤”を認めている。 “今小学4年生の子どもがいますが、どうしても保育園に預けられないときなどは、会社に連れてきていました。まわりの社員にもすごく可愛がってもらい、『社長は今でかけたよ』などと社員の一人みただけでした。大きくなってからは恥ずかしくてなかなか来てくれなくなりましたが（笑）」と山下さん。1階のカフェではキッズルームも併設しており、お客だけでなく社員の子どもも利用可能なように配慮。

「キッズルームがあることは本当に助かりました。キッズルームの設置は市の補助金の対象にもなっていますので、これからも多くの企業で整備されればいいですね。」（山下さん）

女性社員向け社内研修も 積極的に開催

「職場での女性活躍推進がうまくいかは、家庭生活もいかにうまくこなすかにかかっており、会社にもその両立を支援する責任がある」との社長の考えから、女性社員を対象とした特色ある社内研修の実施も欠かさない。令和元年度には、勤務時間が不規則になりがちな子育て中の社員に対して、栄養のある食事を短時間で作る技術や習得する「管理栄養士によるセミナー」や、限られた時間の中で効率的な仕事スキルを磨く「整理収納アドバイザー」によるセミナーを門真市女性雇用環境整備補助金のソフト事業を



社内セミナー 「女性に必要な食スキル～過不足を知り正しい食選択を～」

活用して実施した。 「研修の内容は家庭生活との両立にとっても役立つと思います。また、食生活や収納の内容なので、カフェの仕事にもすぐ役立つと思います。今は調理師免許を取るために勉強中です。（※資格取得には会社からの補助あり）」と見玉さんは話す。

同社は工務店として、様々な物件を目にする機会が多い中、「製造業はいまだに食事スペースもないところも多い」ことに衝撃を受けた中村社長は、事業者への職場環境向上の提案も積極的にしている。市内のある金属加工中小企業は、同社の提案により、社員食堂、フィットネスジム、キッズスペース（企業内保育の実施基準に準拠）、障がい者用トイレを整備。大手企業の新工場にも遜色のない機能、デザインに生まれ変わった。

お話をうかがった（左から） 山下さん、孫さん、児玉さん、中村さん



なく社員の誰もが仕事を取るチャンスを与えるため、経理や庶務等専門の「間接部門」の廃止を試行している。 「社員には魚を渡すのではなく、それを釣る釣り竿を渡すようにしたい。」と中村社長は話す。同社でも経理や庶務の仕事には多くの女性社員が従事しているが、基本的に専任とはせずに、それらの事務に併せて営業や自社のカフェ・飲食店・シェアハウス・民泊・水耕栽培農園等の様々な新規事業の運営を任せるようにしている。 「仕事はめっちゃ楽しいです。女性チームで民泊や農園などを任されていますが、みんなで相談しあって問題を解決するようにしています。チャレンジしたいことは社長に直接相談して、了承をもらえればすぐに実行しています。」と経理事務とカフェ・飲食店の運営に携わる孫さんは語る。

Company Data
様々な社会貢献活動を通して 幸せの種をまく
～HAPPY. BEANS. PROJECT
株式会社中村工務店

門真市常盤町7-8
TEL:06-72-883-1136





製造業において極めて高い女性比率を誇る

美しく包み訴求力を高める

株式会社門真キャップシール（門真市江端町）は、昭和52年に設立（創業は昭和42年）、「シュリンクフィルム」（熱収縮性を持つプラスチックフィルム）の加工一筋に操業を続けている。シュリンクフィルムは、商品を包み加熱することで、その形状に密着させることができ、ペットボトル飲料や化粧品ボトルなどのラベル、乾電池の包装材料等としてなじみ深い。

同社ではフィルム原反ロールから、カット、マシン目加工、必要に応じ予備成形（これを社名の由来ともなっている「キャップシール加工」という。）等の加工を一貫して行う。また業界トップクラスの短納期対応、1枚からでも製品化を可能とするなど、顧客の要望に柔軟に 대응するとともに、印刷の受注、デザイナーの紹介から各種装着設備の手配に至るまで、ラベル加工に関する全ての業務をワンストップで対応、業界で高い

同社が製造するラベルは生活を支える製品に欠かせないRシール（右）シュリンクラベル（下）



評価を得ている。

高い女性従業員比率

同社は前社長が女性であり、仲間（女性）に呼びかけて会社を興した経緯もあり、設立以来、女性比率が高いことが特徴。現在、従業員数37名のうち、女性は実に33名を占め、得意先による監査等の際にも女性比率の高さに驚かれるという。女性従業員は、工場内での製造をメインに伝票処理の事務等ほぼ全ての業務に携わる。

同社の製品は、飲料や化粧品等に直接装着されることから、社内は衛生管理が徹底されている。女性が主力を担う工場内は、隅々まで整理整頓が行き届き、雰囲気も明るい。しかし、異物混入等の不良は許されず、全身に白い防塵着を纏った女性従業員が黙々と作業をこなす光景からは、独特の緊張感が伝わってくる。

製品となるラベルは非常に繊細である一方、持ち込まれるフィルムの原反ロールは数十キログラム。原反ロールの運搬や装置にセットする際、

大の大人なら持てたくはないが、ジャッキ付きの台車などのアシストツールを充実させるなど、女性の就業に対する配慮も欠かさない。

社長も「子育て真っ最中」

同社は女性比率が高いという特性もあり、以前より、女性が働きやすい環境づくりに注力してきた。従業員のほとんどが門真市、大東市等の近隣から通勤しており、現役の「お母さん」も多数在籍する中で、特に子育て中の従業員に対する支援を充実させている。

「仕事」には替わりをする人がいますが、「お母さん」「お父さん」には替わりはありません。」と語るのは同社の三ツ川代表取締役。自身も「子育て真っ最中」だ。



衛生管理が行き届いた製造工程

同社は常時1〜2人の産休・育休取得実績があり、復帰の際もいきなりフルタイム勤務とはせず、保育所等の「慣らし保育」に合わせるように、はじめは週に数日勤務と徐々に慣らしながら勤めてもらえるように配慮している。

工場入口にひときわ目立つホワイトボード。休暇希望日をいつでも記入できるようにすることで、休暇を申ししやすい環境を作り出す工夫だ。実際、前もって申告された休暇については、会社側から取り下げられることはまずないという。

「荒っぽくいえば『自由出勤』に近いです（笑）。過去に子どものインフルエンザが大流行したときは、会社に入所できなくなる、その時は流石に驚きました。」と苦笑する。

ベビーシッター

派遣サービス会社と契約

さらに、最近では、近隣の認可外保育園と提携、従業員の子どもが優先的に入所できるよう配慮するとともに、ベビーシッター派遣サービス会社と契約、一定の限度額内で従業員が利用できる仕組みを導入した。



市の補助事業を活用し工場内に2箇所の女性専用トイレを整備（洋式化）

働き方改革や柔軟な休暇取得制度等の両輪として重要なのは、工程の柔軟性である。同社では基本的に各人がそれぞれ装置（工程）を担当し責任を持って加工を行うスタイル。休暇等による欠員が生じた際は、迅速に優先順位を決定し、最大限可能な対応を行うが、多能工の推進、シフト組みや工程組みには工夫の余地はまだ残されており、今後取り組むべき課題であるという。

「自社の仕事は一人前になるには非常に時間がかかります。そこでスーパーサブとしてOGの方（女性）にきていただくなど、技術の承継を進めています。」

「女性が働きやすい環境整備の推進は、人材の確保にももちろん有効で

Company Data

1枚からも製品化。

シュリンクラベルのことなら

ワンストップで対応可能

株式会社門真キャップシール

門真市江端町29-3 TEL: 072-883-5550



かどま

女性活躍の職場づくり

市内5社の取組事例集



門真市 市民文化部 産業振興課

〒571-8585 大阪府門真市中町1番1号

TEL : 06-6902-1231 (代表) FAX : 06-6905-3264

令和2年7月発行

門真市HP

